

中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

試験方式	法学部 三年次転籍・編入学試験
学部（学科/専攻）	法学部
科目	法学-法律学の基礎に関する論述試験

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

民法上の基礎的概念である過失責任主義という概念につき、単に概略を理解しているだけにとどまらず、なぜその立場が採用されているのか、そしてそれを修正すべき場合にはどのような場合があるのか等につき、総合的に当該概念を理解し、説明する能力を身に付けているかどうかを確認することにより、編入学した際、専門的な講義等にスムーズについて行けるだけの力量を、法学の入門書、基本書の自習等を通じて有しているかどうかを計ることが出題の意図である。

中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

試験方式	3 年次編入学試験
学部 (学科/専攻)	法学部
科目	政治学の基礎知識

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

法学部政治学科への編入学を希望する学生として必ず身に着けておいて欲しい政治の基本的な概念、特に民主主義の本質を問う設問としている。

したがって、受験者が民主主義の本質について、どの程度の知識があるのか、それをどのように説明することが出来るのか、をはかることが出題の意図である。

中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

試験方式	転科・転籍・編入学
学部（学科/専攻）	法学部
科目	英語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

設問 I.

ある程度抽象的な内容を扱い、文章読解に必要な英語の文法知識と語彙力を問う問題とした。設問 I の英文では、日常的な話題である「会話」を題材に、言語が単なる情報伝達的手段ではなく、人間関係を築き維持する社会的な機能をもつということが論じられている。言語と社会との関わりというある程度抽象的ながら身近な問題でもある話題を取り上げ、大学教育での素地としての理解力を問うものとした。

設問 II.

英語の文章を読みその要点を把握することができるか、また、英語の基本的な文法や語彙の知識を適切に用いて内容をまとめたり、伝えたりできるかを問う問題とした。設問 II の英文は、近年の地球温暖化に関するものであり、地球規模で進行する危機的な気候変動の状況や温室効果ガス削減に向けた取り組みについて論じている。大学教育での素地として、幅広い問題意識をもってさまざまな事象について英語で理解し発信できるかを問うものとした。